

## 9-11-2 予測、環境保全措置の検討及び評価の結果

### (1) 工事中の造成等による土地の改変、存在・供用時の改変後の地形及び樹木伐採後の状態における保全すべき植物種への影響

#### 1) 予測

##### ① 予測項目

予測項目は、以下の通りとした。工事中、及び存在・供用時における個々の植物の生育への影響について予測・評価を行った。

##### ア. 工事中

造成等の土地の改変に伴う保全すべき植物種の生育への影響の有無及びその程度。

##### イ. 存在・供用時

改変後の地形・樹木伐採後の状態における保全すべき植物種の生育への影響の有無及びその程度。

発電所の稼働に伴う取水及び排水計画による保全すべき植物種の生育への影響の有無及びその程度。

##### ② 予測方法

予測は、保全すべき植物種の類似事例及び既存知見から生育分布域を把握し、1)で示した予測項目の直接的影響を考慮して現況との比較により予測した。

##### ③ 予測地域・予測地点

調査地域を予測地域とした。

##### ④ 予測対象時期

##### ア. 工事中

造成等の土地の改変を行う時期。

##### イ. 存在・供用時

発電所が定常状態（試運転後3ヶ月目）で稼働し、植物の生育が一定期間を経て安定した時期。

##### ⑤ 予測結果

現地調査の結果、保全すべき植物種として2種を確認した。このうち、計画地内での保全すべき植物種はなかった。

各植物種の予測結果は表9-11-10に示すとおりである。

表 9-11-10 保全すべき植物種の予測結果

種名	生育場所別個体数				予測結果
	計画地	周辺域			
		B沢	笹子川		
			水中	砂礫地	
ツルカノコソウ		1株			【工事中】 ○造成などの土地の改変による影響 本種の生育確認位置は周辺域のB沢であり、本事業計画に基づく造成などの土地の改変による影響はないものと予測される。
					【存在・供用時】 ○改変後の地形・樹木伐採後の状態による影響 本種の生育確認位置は周辺域のB沢であり、改変後の地形・樹木伐採等の状態による影響はないものと予測される。
ヒエガエリ				8株	【工事中】 ○造成などの土地の改変による影響 本種の生育確認位置は周辺域の笹子川砂礫地であり、本事業計画に基づく造成などの土地の改変による影響はないものと予測される。
					【存在・供用時】 ○改変後の地形・樹木伐採後の状態による影響 本種の生育確認位置は周辺域の笹子川砂礫地であり、改変後の地形・樹木伐採等の状態による影響はないものと予測される。

2) 環境保全措置の検討

① 環境保全措置

環境保全措置はツルノカノコソウ及びヒエガエリについては事業による生育による影響はないものと判断したため、これら2種に対する環境保全措置は講じないものとする。

3) 評価

① 評価方法

ア. 回避・低減の観点

工事中の造成等による土地の改変、存在・供用時の改変後の地形及び樹木伐採後の状態等における保全すべき植物種への影響は、回避され、又は低減されるかどうかを明らかにした。

② 評価結果

ア. 回避・低減の観点

保全すべき植物種についての評価結果は、表 9-11-11 に示すとおりである。

ツルカノコソウ及びヒエガエリの2種は本事業計画による生息の影響はないものとする。

表 9-11-11 保全すべき植物種の評価結果

評価対象種	事業実施にあたり影響があると予測された種	評価結果
ツルカノコソウ	—	本種の生育確認位置は周辺域のB沢であり、事業による影響はないものと考えられる。
ヒエガエリ	—	本種の生育確認位置は笹子川の砂礫地であり、事業による影響はないものと考えられる。